

# 岐阜県高山市

## 中心市街地活性化基本計画概要

【2期計画：令和6年4月～令和11年3月】

【目指す中心市街地の都市像】

誰もが暮らしたい、訪れたい、チャレンジしたいまち

【自治体の概要】 人口：83,461人（R5.10.1住民基本台帳）、面積：2,177.61km<sup>2</sup>

1586年金森長近は飛騨国3万3千石の国主となり、ここから金森氏6代、107年の政治が始まった。1588年から築城した高山城と同時に城下町の整備も行われ、城を取り囲むように高台を武家地とし、一段低い所を町人のまちとした。この町人町が現在の「古い町並」の元となり今日の高山の基礎が作られた。

### 【中心市街地の課題等】

#### 課題1 少子化、高齢化による人口の減少

観光客が増加する一方で、中心市街地における人口は自然減とともに社会減が続いている。それに伴い、町内会の運営や地域単位での文化活動（高山祭等）の存続が困難な状況にある。

※人口 10,648人（H25）→8,649人（R5）

※高齢化率 39.1%（H25）→44.1%（R5）

#### 課題2 一部の観光地への観光客の集中

一部の観光地に観光客が集中することにより、観光地から離れた商店街の衰退や、まちなかの交通渋滞の発生、住む場所としての魅力の喪失にもつながっている。

※歩行者自転車通行量（R4 平日、休日）

本町通り（北） 977人、2,185人 さんまち通り 6,725人、11,740人

#### 課題3 進学による市外への若者の流出

飛騨地域には、高校卒業後に進学する大学などがほとんどなく、進学した若者の多くは飛騨地域外へ転出し、大学などを卒業した後は、都市部の企業に就職する若者が多い状況が続いている。

※飛騨地域高校卒業後の進路 飛騨地域外への進学率 約7割（R4.3）

#### 課題4 公共施設の老朽化

高山駅西地区における市の公共施設はいずれも老朽化しており、他施設との複合化や多機能化を基本とした新施設の整備が必要である。

### 【中心市街地活性化の方針】

#### 基本方針1 誇りに思える「暮らしたいまち」づくり

住む人やこれから住む人がこれまで受け継がれてきたまちの歴史・文化や景観などを生活の中で誇りに感じられ、安全・安心・快適に過ごすことのできる住環境を形成することにより、「まちの顔」である中心市街地で暮らしたいと思えるまちづくりを推進する。

→目標：居住人口の維持【目標指標：中心市街地への転入・転居者数】全43事業（重複含む）

#### 基本方針2 魅力あふれる「訪れたい、巡りたいまち」づくり

商業や居住、歴史、文化、芸術、景観、癒しなど、まちなかに混在する多様な機能の維持・発展を図ることにより、生活感のある魅力的な都市空間の形成を図り、多くの人が訪れ、交流し、賑わうとともに、市民や観光客が歩いて楽しめる空間形成と利便性の高い交通体系の連動により、まちなかの交通混雑の解消が図られ、回遊性の向上や滞在時間の延長がもたらされるまちづくりを推進する。

→目標：来街者数の増加【目標指標：歩行者通行量】全79事業（重複含む）

#### 基本方針3 活力ある「働きたい、チャレンジしたいまち」づくり

これまでまちの賑わいを創出してきた商いの継承と新たな産業の誘致・創出などを図り、若者の起業・創業支援や自主的な活動の支援などにより、多くの人が中心市街地へ集い、活き活きと働き、挑戦できるまちづくりを推進する。

→目標：営業店舗数の増加【目標指標：中心商店街営業店舗数】全11事業（重複含む）

### 【計画目標と数値】

目 標	目標指標	基準値	推計値	目標値
居住人口の維持	中心市街地への 転入・転居者数(人/年)	353 (R4)	253 (R10)	284 (R10)
来街者数の増加	歩行者通行量(人/日)	10,192 (R4)	11,760 (R10)	11,958 (R10)
営業店舗数の増加	中心商店街営業店舗数(店舗)	350 (R4)	343 (R10)	353 (R10)

### 【前期計画目標と数値】

目 標	目標指標	基準値	目標値
住みやすいまち	中心商店街歩行者 自転車通行量(人/日)	16,369 (H26)	17,349 (H31)
にぎわいのあるまち	中心商店街 営業店舗数(店舗)	365 (H25)	371 (H31)
やさしさにあふれるまち	公共施設利用者数(人/年)	349,081 (H25)	370,354 (H31)

# 高山市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 誇りに思える「暮らしたいまち」づくり

### ①商店街アーケード等整備支援事業

アーケード等の公共的空間の安全・安心・景観向上及び商店街の機能向上のための環境整備に要する費用の一部を助成する。

### ②空き店舗等活用支援事業

中心市街地の空き家・空き店舗を活用する所有者や居住者、事業者等に対し改修費・家賃等の費用の一部を助成する。

## 魅力あふれる「訪れたい、巡りたいまち」づくり

### ③高山駅西複合・多機能施設(仮称)整備事業

高山駅西地区まちづくり構想に基づき、必要な拠点・機能の形成を図るため、複合・多機能施設等を整備する。

### ④市営駐車場市民割引事業(実証実験)

中心市街地の市営駐車場において、市民割引の実証実験を行う。なお、実証実験の結果を検証したうえで本格運用につなげる。

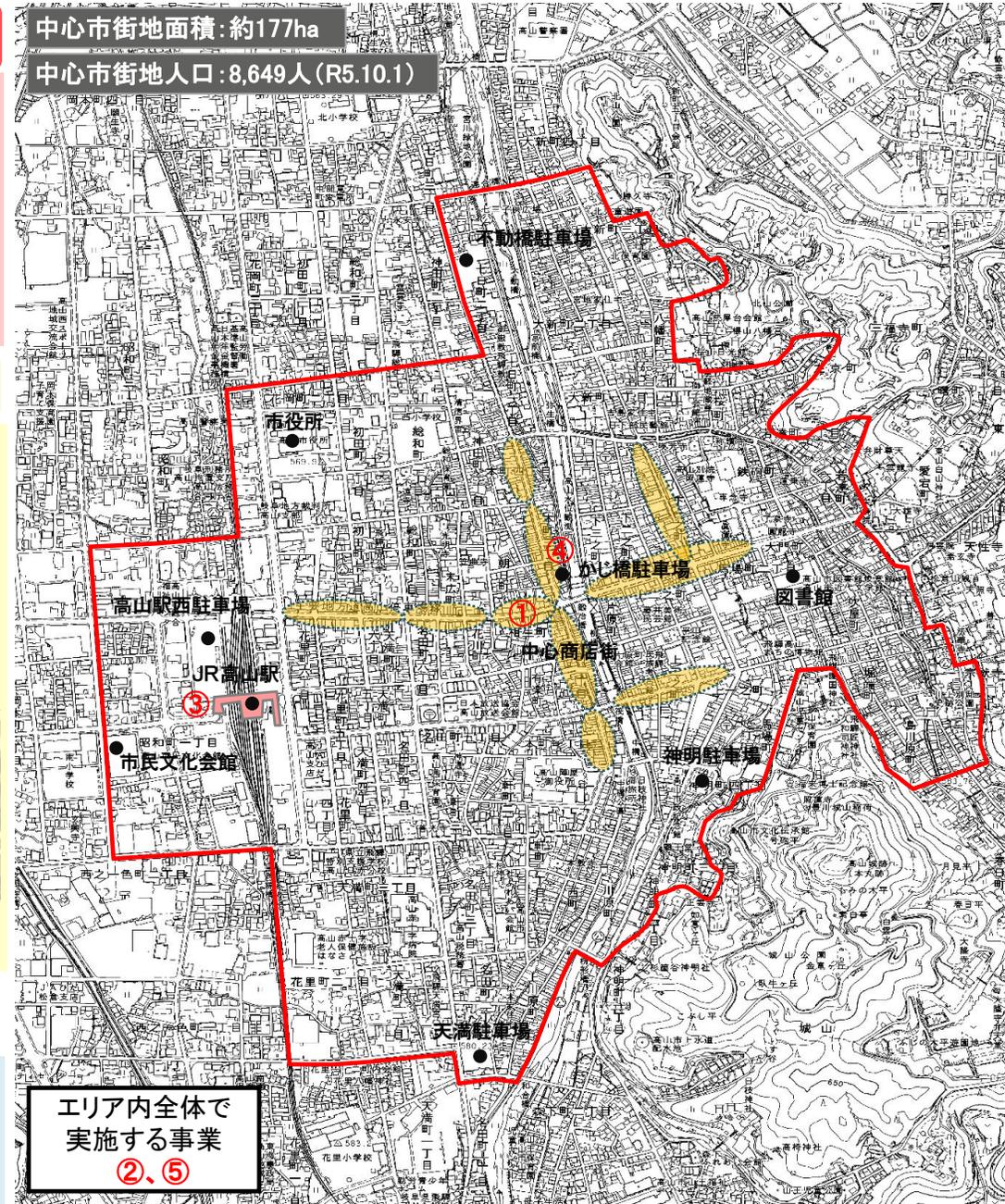
### ⑤車両流入抑制事業(実証実験)

中心市街地外縁部の市営駐車場におけるバスの駐車料金の割引や、神明駐車場のバス駐車区画廃止等の実証実験を行う。なお、実証実験の結果を検証したうえで本格運用につなげる。



中心市街地面積:約177ha

中心市街地人口:8,649人(R5.10.1)



エリア内全体で  
実施する事業

②、⑤

## 活力ある「働きたい、チャレンジしたいまち」づくり

### ②空き店舗等活用支援事業(再掲)

中心市街地の空き家・空き店舗を活用する所有者や居住者、事業者等に対し改修費・家賃等の費用の一部を助成する。